



グリップヒーターSP 取り付けについて

JKK96530G2

適合車種：PCX（JF81）、PCX150（KF30）、ADV150（KF38）

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



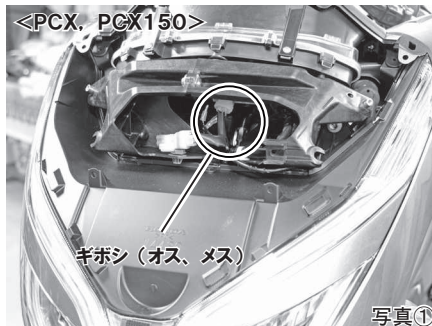
警告

※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

●接続する前に（重要）

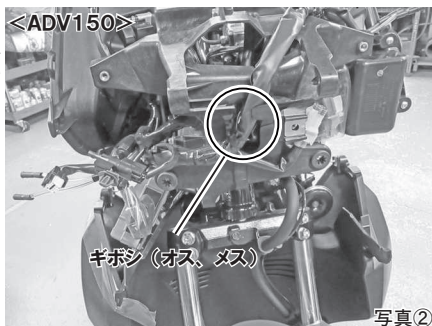
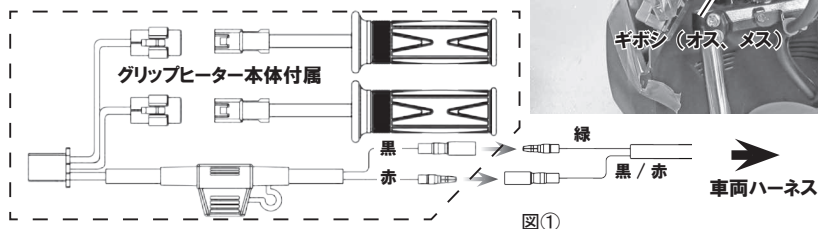
本商品は純正バーエンド装着車のみ対応しております。
バーエンドが純正と異なる場合には、別途バーエンド
固定用のボルトが必要になる場合がありますので、
その場合には量販店およびホームセンターなどで
適切な長さのボルトをお買い求めください。

本商品を接続する前に車両のサービスマニュアル
を参考にして、写真①または写真②の状態になる
ようにカバー類を取り外しておきます。
写真①、②を参考にしてグリップヒーター用ギボシの
位置を確認しておきます。



①配線の接続について（図①）

グリップヒーター側ハーネスのギボシと車両のギボシを
それぞれ接続し、左右グリップ、スイッチも仮接続して
グリップヒーターの動作確認をしておきます。問題無く
動作すれば、グリップとスイッチはいったん外します。



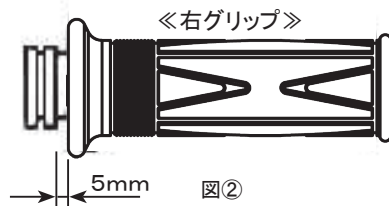
②純正グリップの取り外し

左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着している
ボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。



注意

左右のグリップ共にグリップから出ている配
線の位置を確認してから取り付けしてくだ
さい。また、右側はスロットルを回した時に配
線には絶対負荷がかからないようにしてくだ
さい。グリップから配線が出ている部分は弱
く、断線して破損してしまう恐れがあります。



●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強く
ねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがあり
ますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に1分以上は暖めないで
ください。（特に右側）。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかから
ないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離れた状態でスロットルが確実に全開まで
戻ることを確認、点検を行ってください。

③スイッチ部の取り付け（写真③）

グリップヒーターを取り付ける前に、リングタイプ
スイッチをハンドルパイプの左側グリップ部に差し
込んで固定します。
→このとき、車両の操作の邪魔にならない位置に
固定してください。

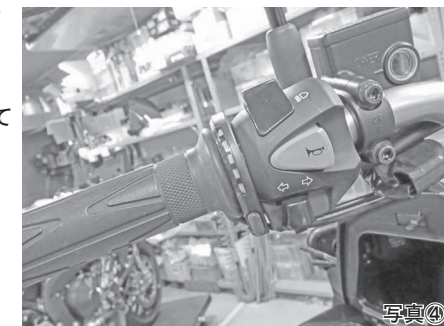


④左右グリップの取り付け（参考例）

グリップヒーター本体の説明書を参考に、スペーサー
を先に入れてからグリップを取り付けてください。
図①を参考にして、本取り付けキットを使用して
グリップヒーターを接続した後、スイッチをONにして
グリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めて
おくと差し込みやすくなります。

また、右グリップはサービスマニュアルを参考に
純正を取り外して付属のスロットルパイプに
交換して、図②のようにスロットルパイプとグリップ間
が5MMくらいになるようにしてください。

※このとき、スロットル操作に問題が無いか確認して、
スロットル全開状態から、手を離して確実に全閉に
戻ることを確認してください。

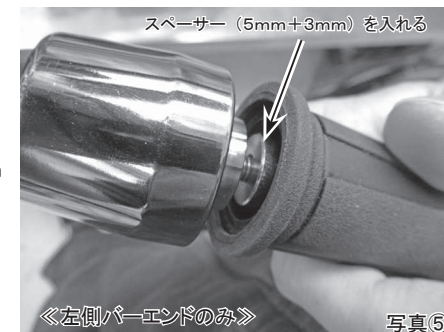


⑤左側バーエンドの取り付け（写真⑤）

左右共にグリップヒーターの取り付けが終わったら、
左側バーエンドの取り付けをします。（右側は純正と
同様に取り付けします。）

純正グリップ状態に対して、約8mm長いの純正
バーエンドを固定する際に付属のスペーサー（5mm
+3mm）を左側のみに1個ずつ入れてからバー
エンドを付属のボルトを使用して固定します。

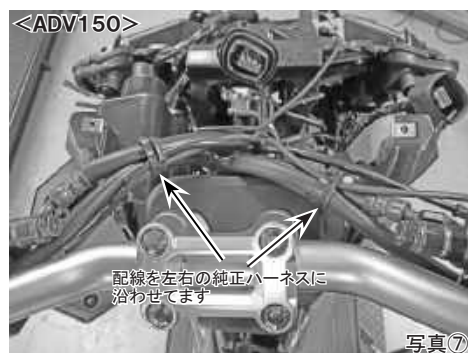
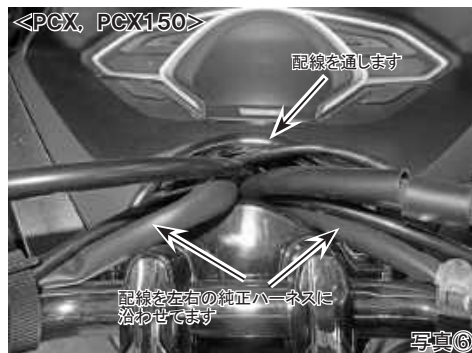
※純正ボルトのままだとネジ山がほとんどかからない
ので絶対に使用しないでください。



⑥配線のまとめ（写真⑥、⑦）

それぞれの取り付けが終わったら、フロントハンドルカバーの間から左右グリップ、スイッチの配線を通してハーネスのカブラーに接続します。配線の長さが余っている部分はタイラップなどで固定します。

→ハンドルを左右に動かして、ハーネスに力がかかっていないか、ハンドル操作の邪魔になっていないか確認します。



⑦取り付け完了

取り外したカウルなども元に戻す前に、イグニッションキーをONにしてグリップヒーターの動作確認をします。問題なく温まったら、カウルを元に戻して取り付け完了です。

●構成部品●

- ・専用スロットルパイプ・・・1個
- ・ワッシャー2種類・・・各1枚
- ・パーエンド用ボルト・・・1個
- ・取扱説明書・・・1部

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
www.endurance-parts.com/

2019.08.27